

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和3年4月7日（水） 14時30分から16時
会 場	江古田区民活動センター 洋室1～3
テ ー マ	中野区基本計画（素案）・中野区区有施設整備計画（素案）について
出席者 区 民	計9人
区 側	区長、企画部長、構造改革担当部長、子ども家庭支援担当部長、企画課長、基本構想担当課長、財政課長、北部すこやか福祉センターアウトリーチ推進担当課長
一 時 保 育	無
手話通訳・要約筆記	無

区長あいさつ	
<p>本日は、基本計画・区有施設整備計画の素案に関する意見交換会である。3月に区議会での議決を経て、中野区において最上位に位置する基本構想を改定した。基本構想の中では、まちの将来像として「つながる はじまる なかの」を掲げている。中野区では、人と人がつながり、新たな価値を生み出していくことを大切にしたいと考えている。</p> <p>その基本構想を実現するための計画が、基本計画及び区有施設整備計画である。基本計画は、将来人口推計や財政見通しを踏まえ、区が取り組むことを体系的に示している。中野区の総人口は、2035年をピークに、その後は減少に転じる見通しである。また、高齢化が一層進展し、65歳以上の人口は増加傾向が続く。そうした中でも行政サービスを維持していく必要があると考えている。</p> <p>区有施設については、現在、築50年以上の建物が全体の約3割を占めるなど、老朽化してきている。子どもの数の減少に合わせて学校の統廃合を行ってきたことにより、学校数は減ったが、施設については老朽化している学校が多い。学校施設の建替え等については、未来ある子どもたちの施設であるため、最優先で行っていく必要があると考えている。ただ、学校だけでなく、これから更新する必要がある施設は多くあるが、財政見通しを考えると全てを更新することはできない。財政の見通しを立て、10年後を見据えた上で、長期的な視点も持って施設の更新を進めていきたい。</p> <p>本日は、区政に対して、皆さんが日頃感じていることについてのご意見などいただきたい。</p>	
区民の意見・質問	区長の回答等
<p>政策・施策と重点プロジェクトは、どういう関係になっているのか。</p>	<p>重点プロジェクトは、政策及び施策を効果的かつ効率的に推進していくため、組織横断的かつ重点的に対応することが必要な政策課題に対して設定している。</p>
<p>公園内等に保育室を設置したと思うが、新しい中野をつくる10か年計画（第3次）には記載されておらず、急に行われたと感じた。急に決まったことであっても区民にはきちんと説明してほしい。また、保育室の設置の成果など、検証結果についても、区民に十分な説明が必要だと思う。</p>	<p>区立保育室事業は、全て廃止しているところであるが、待機児童対策として一定の効果があつたと考えている。</p>
<p>新井薬師公園について、公園が閉鎖され改修工事が行われたが、事前に周知もなく、突然工事が始まったと感じた。利用者に影響がある場合は、事前に十分な説明を行ってほしい。</p>	<p>新井薬師公園では、令和元年度にトイレ改修工事、令和2年度に遊具更新工事を行った。これらの工事の施工の際には、必ず事前に、工事内容、工事の実施期間及び公園の閉鎖期間について、町会や近隣住民の方にお知らせするとともに、区のホームページでも周知を行っている。</p> <p>今後も、工事内容等を明示するなど、事前の情報提供を図っていく。</p>
<p>基本計画において、これからの5年間に重点的に実施していくという取組を明確に示し、その実現に向けて区民の協力を得られるようにしてほしい。</p>	<p>計画期間内に、組織横断的かつ重点的に対応することが必要な政策課題に対して、重点プロジェクトを設定しており、全庁をあげて取り組んでいく。これらをはじめ基本計画を着実に進めていくために、区民や事業者等との協働・協創に基づく区政運営を原則として進めていく。</p>
<p>子育て家庭が安心して過ごすことができ、専門の職員に相談もできる施設をつくってほしい。</p>	<p>すこやか福祉センターや子ども・若者支援センターにおける専門相談など、保護者の育児不安の解消に繋がる相談支援を充実させることにより、子どもや子育て家庭が安心して過ごせる居場所として、児童館の機能を強化していく。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>世界全体で、ゼロエミッションに向けた取組が進んでいるが、中野区においても、二酸化炭素の排出削減だけでなく、メタンガスの排出削減に向けた取組を進める必要がある。家畜からのメタンガスの排出削減に向けた取組を行ってほしい。例えば、学校給食において、肉を使わない野菜だけの献立の日を設けてはどうか。子どもたちへの環境教育にもなるので、良いと思う。</p>	<p>区内の温室効果ガスのうち、二酸化炭素の占める割合は約90.7%であり、メタンガスの占める割合は約0.1%であることから、脱炭素社会の実現に向けて、二酸化炭素排出量の削減を目標に掲げ、重点的に取り組んでいきたい。 環境教育についてはこれまでもグリーンカーテンや二酸化炭素の削減などに学校で取り組んできている。食育や環境問題のことなど、身近なところで、子どもが学べる機会をつくっていきたい。</p>
<p>北部すこやか福祉センターは江原町辺りからは現在地でもアクセスしにくい。沼袋小学校跡地に移転する計画だが、交通手段も考えてほしい。</p>	<p>施設機能を適切に配置するため、地域の活動拠点としての機能やモビリティ（移動の利便性）の確保など、様々な観点から検討していく必要があると考えており、アウトリーチ活動の推進や地域における交通のあり方及びまちづくりの動向などを踏まえながら、検討する。</p>
<p>高齢者等が区の施設が利用しやすくなるよう、施設を巡回するバスを設けてほしい。</p>	<p>現在、3・4か月健診や3歳児健診についてはすこやか福祉センターで行っているが、医療機関で受診できる健診を増やすことを検討していきたい。</p>
<p>すこやか福祉センターに行くのが大変な子育て家庭のために、地域にある施設に出向いて乳幼児健診や相談を実施してほしい。</p>	<p>図書館や児童館などの公共施設を活用し、子どもが自習できるスペースを確保していく。</p>
<p>子どもが勉強できるスペースを充実してほしい。</p>	<p>デジタルトランスフォーメーションを進めるとあるが、行政は対応が遅いと感じる。民間企業等と連携した取組を進めると良いと思う。</p>
<p>デジタルトランスフォーメーションを進めるとあるが、行政は対応が遅いと感じる。民間企業等と連携した取組を進めると良いと思う。</p>	<p>デジタルシフトによる行政サービスの質の向上に積極的に取り組んでいきたいと考えている。また、民間企業等との連携も視野に入れ、進めていく。</p>
<p>RE100の取組を積極的に行うことを打ち出し、再生可能エネルギーの活用を積極的に進めてほしい。</p>	<p>現在、2050年に二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す（ゼロカーボンシティ宣言）準備を進めている。二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す取組を進めるとともに、周知に努めていきたい。事業者としての中野区では、区有施設等における再生可能エネルギー由来の電力への切り替えを進めてきた。今後もRE100の方向性に沿って再生可能エネルギー由来の電力調達を推進し、その取組を強化していきたい。</p>
<p>中野駅周辺の再開発で新たに建てられる建物は、ゼロエミッション化したものとなるようにしてほしい。</p>	<p>新区役所では、自然エネルギーを活用するなど、環境負荷の低減に配慮したものとして整備する。また、中野駅周辺の再開発においては、環境に配慮した整備を誘導していく。</p>
<p>区立学校の図書館は蔵書数が少なく、古い本が多い。蔵書数を増やすことも大切だが、新しい本へと定期的に入替を行い、質を担保することも重要だと思う。また、選書等について学校を支援する体制を整えてほしい。</p>	<p>区立図書館と学校図書館システムの連携による蔵書数以上の本と触れる環境の整備や、指導員による選書の充実など、体制の構築を一定程度行っている。</p>
<p>新しく建てられる小学校は、校庭が人工芝となっているが、人工芝は、剥がれたプラスチックの芝が海に流れ、海洋汚染につながる。子どもへの意識向上やヒートアイランド現象が起こりにくい環境をつくるためにも、校庭は天然芝としてほしい。</p>	<p>校庭を天然芝とすることについては、養生する期間が長く、その間校庭が使えなくなることや、メンテナンスに係る教職員の負担が大きい等のデメリットがあったため、最近改築を行った学校からは人工芝を導入している。導入にあたっては、環境への影響等も考慮し選定していきたい。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
一足制を導入している学校があるが、ウイルスを持ち込む可能性が高まり、感染症の拡大防止の観点から問題だと思う。教室を清潔に保つことができるよう、見直してほしい。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止にあたっては、一足制校舎、二足制校舎のいずれであっても、校舎内の消毒を定期的に行うことにより影響を抑えている。